

Statins and the risks of stroke recurrence and death after ischemic stroke : The Fukuoka Stroke Registry

牧原, 典子

<https://doi.org/10.15017/1441117>

出版情報 : 九州大学, 2013, 博士 (医学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : やむを得ない事由により本文ファイル非公開 (2)

論文審査の結果の要旨

脳卒中の発症や再発の予防は、健康長寿の達成のためにきわめて大切です。これまで、スタチンの脳卒中の再発、予防効果が報告されてきましたが、欧米からの報告では本邦の実臨床での用量より、はるかに多いため、本邦の実臨床での用量が脳卒中の再発、予防効果を持つか否かは不明でした。

本研究では、福岡脳卒中データベース研究に登録された急性期初発脳梗塞患者2822名を対象に、退院時スタチン服用群と非服用群との分類し、脳血管イベント発症率、死亡率ともに、スタチン服用群が低いことを明らかとしました。本研究によって、日本人の急性期脳梗塞患者において、実臨床で用いられる用量のスタチンが脳血管イベントや死亡のリスクを低減することが示唆されました。

以上の成績は *Atherosclerosis* 誌に掲載され、この方面の研究に大きなインパクトを与えた意義ある成果であると考えられます。本論文についての試験はまず論文の研究目的、方法、実験成績などについて説明を求め、各調査委員より専門的な観点から論文内容及びこれに関連した事項について種々質問を行い、ほとんど満足すべき回答を得ました。

以上のことから、調査委員合議の結果、試験は合格であり、審査員3名とも表彰に値すると判断致しました。